

18歳意識調査 「第11回 - 災害・防災 -」詳細版

日本財団 2019年3月5日

目次

調査概要	3
多発する災害に不安を感じるか	5
不安を感じる理由	6
不安を感じない理由	7
国の防災対策は充分と思うか	8
国の防災対策について 充分と思わない理由	9
国の防災対策について 充分と思う理由	10
災害時の知識	11
自助	12
学校の防災教育は役に立った・役に立つと思うか	14
学校の防災教育は役に立つか 理由	15
被災経験	16
災害ボランティアについて	17
若者がもっと災害ボランティアに参加すべきか 理由	18

調査概要「18歳意識調査」 -災害・防災-

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 800

※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	133	133	134	400
女性	133	133	134	400
計	266	266	268	800

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2019年2月12日（火）～ 2月14日（木）

調査手法 インターネット調査

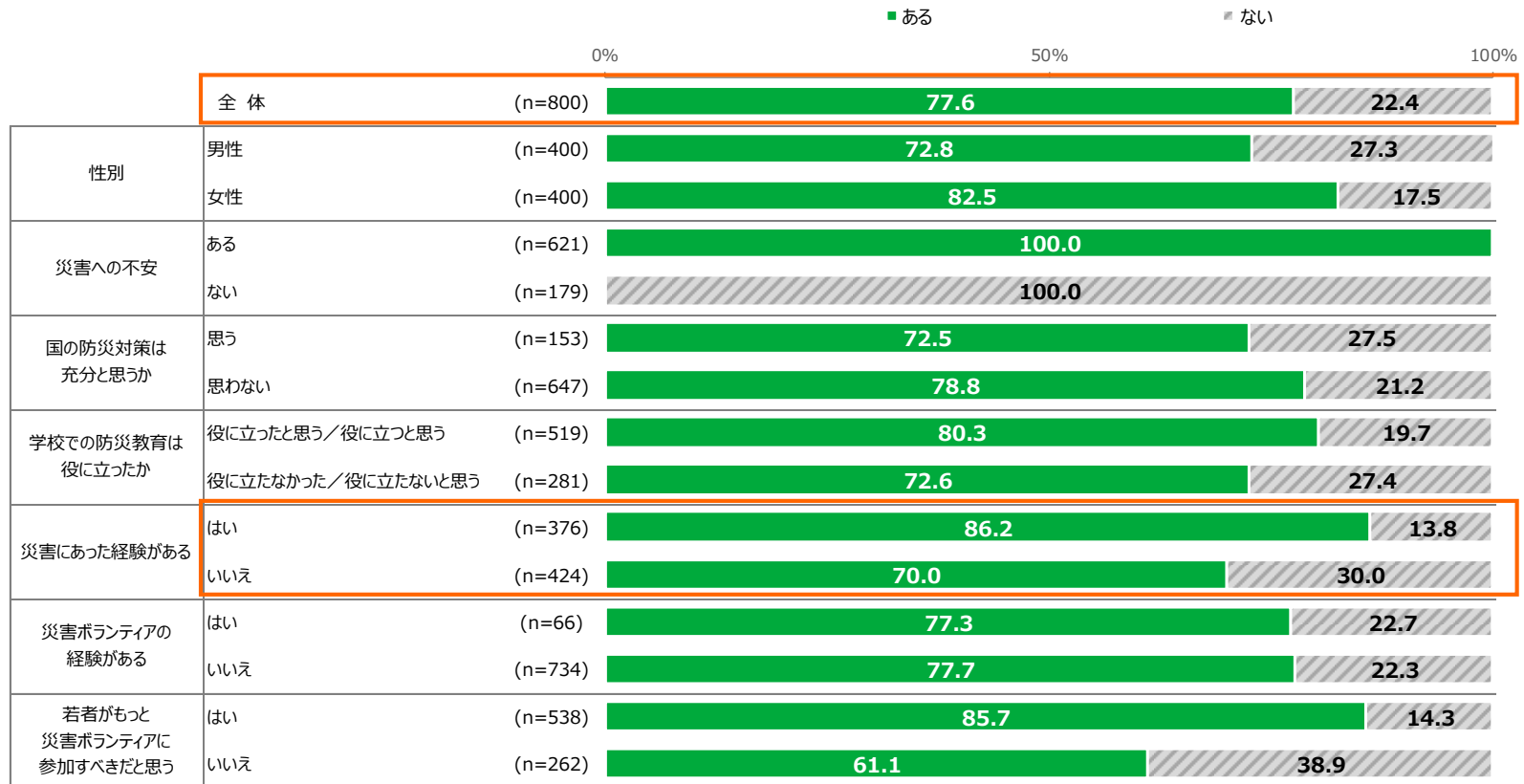
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

詳細

多発する災害に不安を感じるか

- 77.6%が不安を感じると回答。
- 被災経験がある層は、86.2%が不安に感じると回答し、災害にあった経験がない層に比べて不安を感じる割合が多い。

Q1 2011年3月11日に発災した東日本大震災から8年が経過しました。
 ここ数年も毎年のように地震や豪雨による被害が発生しています。多発する災害に不安を感じることはありますか。

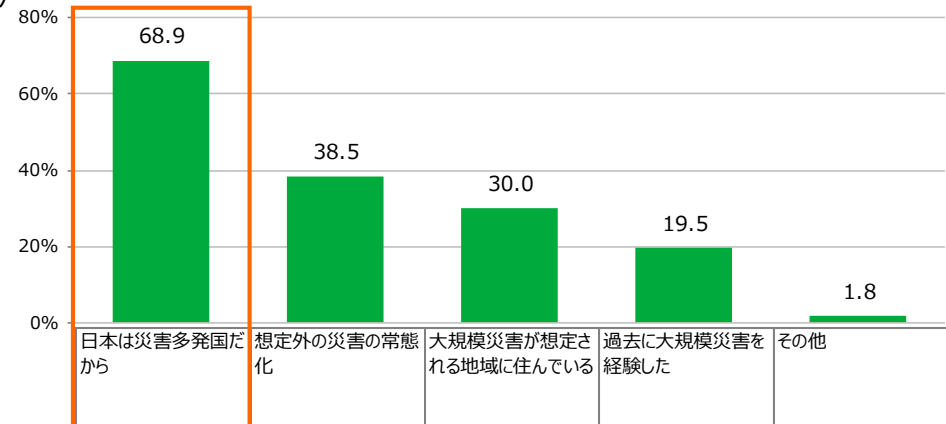
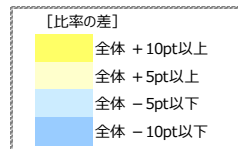


不安を感じる理由

- 不安を感じる理由は、「日本は災害多発国だから」（68.9%）が最も多い。
- 次いで、「想定外の災害の常態化」（38.5%）、「大規模災害が想定される地域に住んでいる」（30.0%）。

■ 「多発する災害に不安を感じることもある」回答者

Q2 あなたは、前問で多発する災害に不安を感じるということが「ある」とお答えになりましたが、その理由として当てはまるものを全て選択ください。（複数回答）



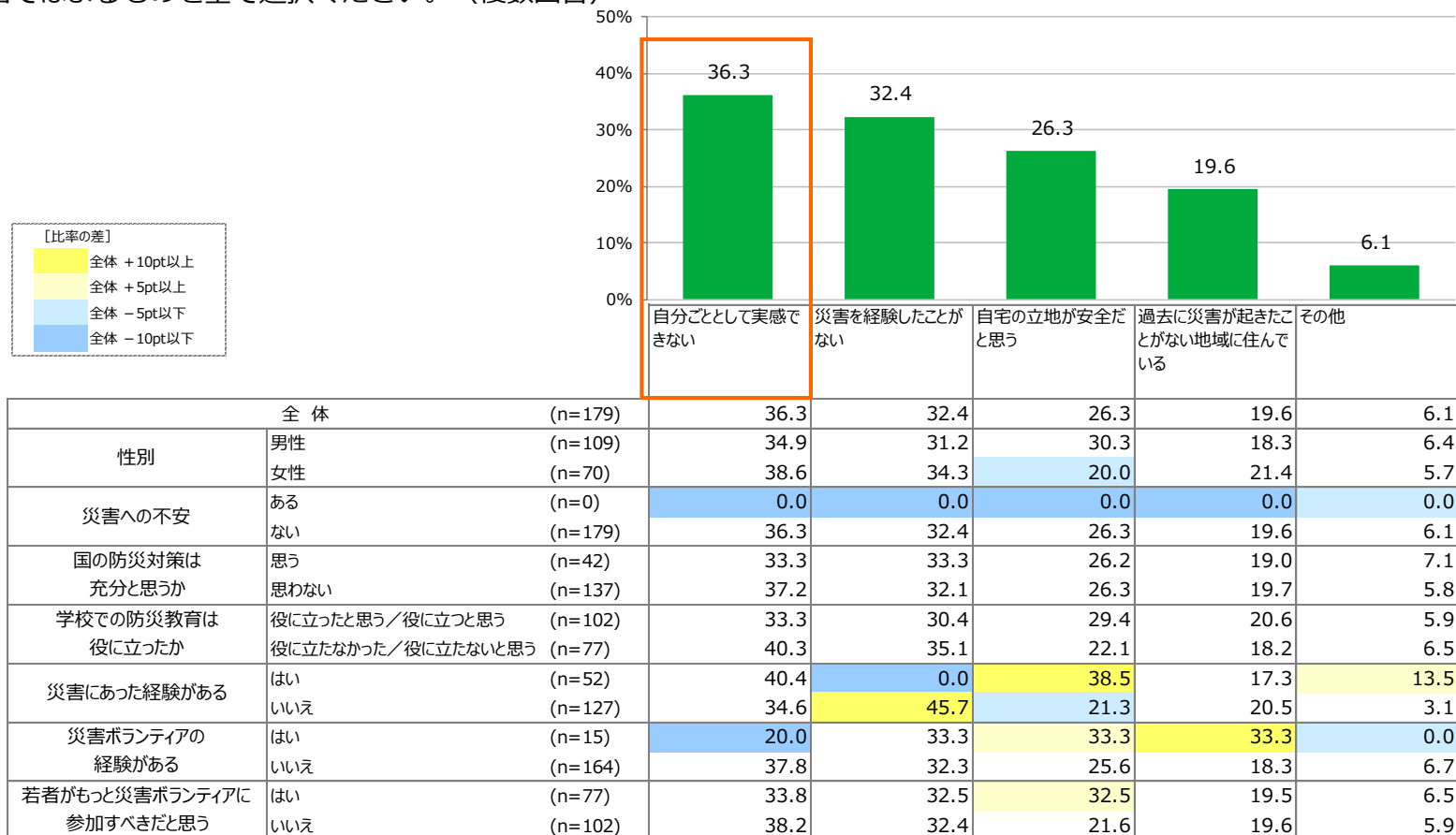
		全体 (n=621)	68.9	38.5	30.0	19.5	1.8
性別	男性 (n=291)	67.7	39.5	33.0	21.6	2.4	
	女性 (n=330)	70.0	37.6	27.3	17.6	1.2	
災害への不安	ある (n=621)	68.9	38.5	30.0	19.5	1.8	
	ない (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
国の防災対策は充分と思うか	思う (n=111)	65.8	28.8	27.0	20.7	0.9	
	思わない (n=510)	69.6	40.6	30.6	19.2	2.0	
学校での防災教育は役に立ったか	役に立ったと思う／役に立つと思う (n=417)	69.3	36.7	28.1	20.9	1.7	
	役に立たなかった／役に立たないと思う (n=204)	68.1	42.2	33.8	16.7	2.0	
災害にあった経験がある	はい (n=324)	65.4	37.0	28.4	37.3	2.5	
	いいえ (n=297)	72.7	40.1	31.6	0.0	1.0	
災害ボランティアの経験がある	はい (n=51)	56.9	33.3	29.4	37.3	0.0	
	いいえ (n=570)	70.0	38.9	30.0	17.9	1.9	
若者がもっと災害ボランティアに参加すべきだと思う	はい (n=461)	69.2	42.3	32.1	18.9	2.2	
	いいえ (n=160)	68.1	27.5	23.8	21.3	0.6	

不安を感じない理由

- 不安を感じない理由は、「自分ごととして実感できない」（36.3%）が最も多い。
- 次いで、「災害を経験したことがない」（32.4%）、「自宅の立地が安全だと思う」（26.3%）。

■「多発する災害に不安を感じることがない」回答者

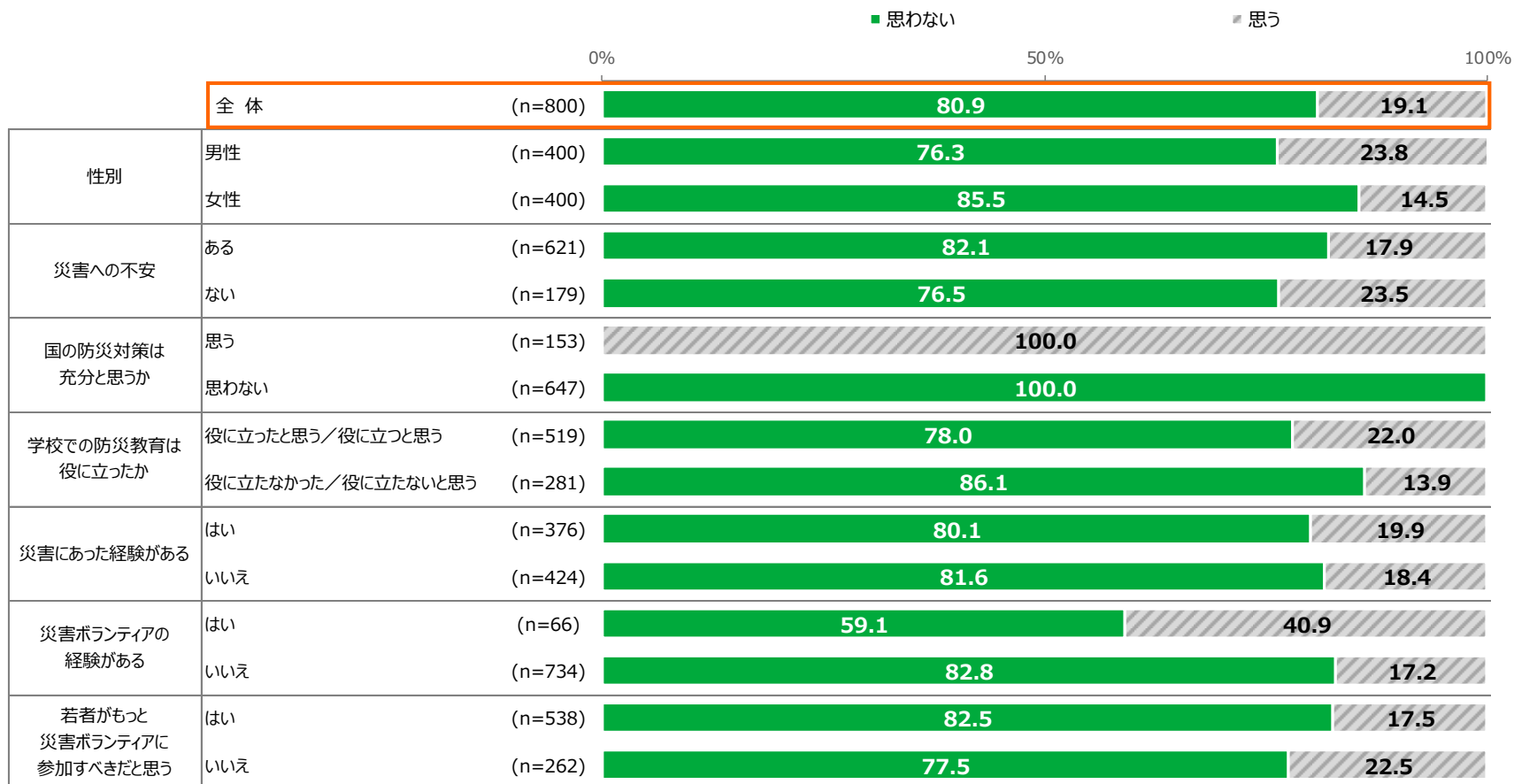
Q2 あなたは、前問で多発する災害に不安を感じることが「ない」とお答えになりましたが、その理由として当てはまるものを全て選択ください。（複数回答）



国の防災対策は充分と思うか

- 80.9%が国の防災対策は充分でないと回答。

Q3 あなたは大規模災害に対する国の防災対策は充分だと思いますか。

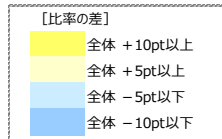
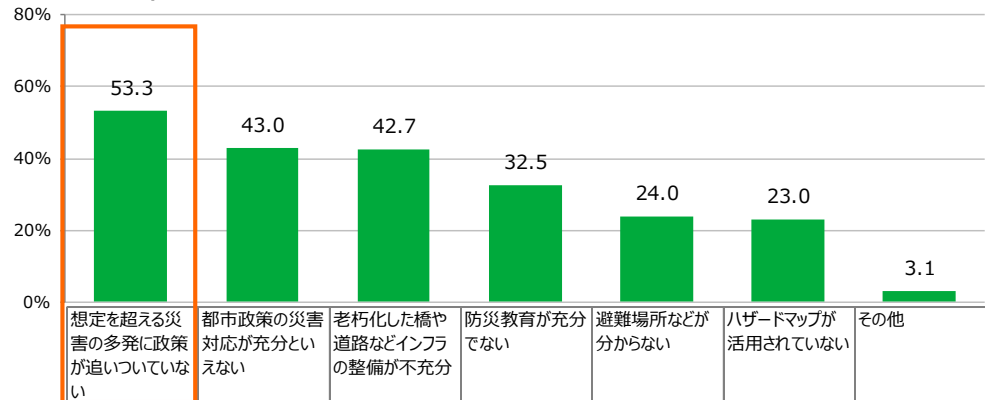


国の防災対策について 充分と思わない理由

- 国の防災対策が充分だと思わない理由としては、「想定を超える災害の多発に政策が追いついていない」（53.3%）が最も多い。他、「都市政策の災害対応が充分といえない」（43.0%）、「老朽化した橋や道路などインフラの整備が不十分」（42.7%）が上位にあがる。

■ 「国の防災対策は充分だと思わない」回答者

Q4 あなたは、前問で大規模災害に対する国の防災対策は充分だと「思わない」とお答えになりましたが、その理由として当てはまるものを全て選択ください。（複数回答）



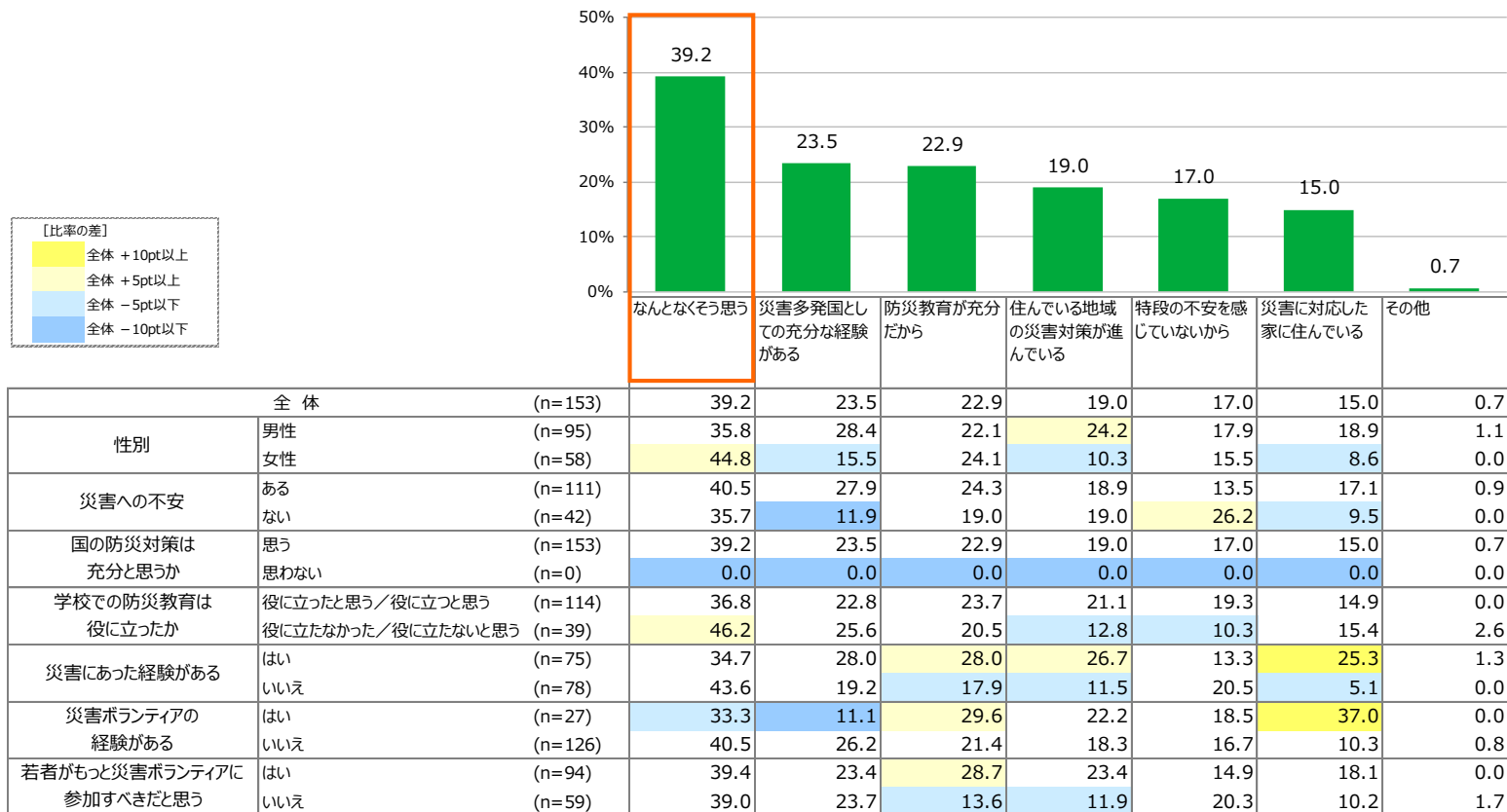
		全体 (n=647)	53.3	43.0	42.7	32.5	24.0	23.0	3.1
性別	男性 (n=305)	52.1	47.5	44.6	31.5	19.3	21.6	3.9	
	女性 (n=342)	54.4	38.9	40.9	33.3	28.1	24.3	2.3	
災害への不安	ある (n=510)	55.5	45.7	45.1	35.3	26.5	22.4	3.3	
	ない (n=137)	45.3	32.8	33.6	21.9	14.6	25.5	2.2	
国の防災対策は充分と思うか	思う (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	思わない (n=647)	53.3	43.0	42.7	32.5	24.0	23.0	3.1	
学校での防災教育は役に立ったか	役に立ったと思う／役に立つと思う (n=405)	52.8	43.2	43.2	29.1	23.5	21.7	2.7	
	役に立たなかった／役に立たないと思う (n=242)	54.1	42.6	41.7	38.0	24.8	25.2	3.7	
災害にあった経験がある	はい (n=301)	57.5	46.8	43.5	31.2	24.3	23.9	2.7	
	いいえ (n=346)	49.7	39.6	41.9	33.5	23.7	22.3	3.5	
災害ボランティアの経験がある	はい (n=39)	53.8	46.2	38.5	46.2	20.5	20.5	0.0	
	いいえ (n=608)	53.3	42.8	42.9	31.6	24.2	23.2	3.3	
若者がもっと災害ボランティアに参加すべきだと思う	はい (n=444)	56.3	46.6	45.9	35.8	26.8	24.1	3.2	
	いいえ (n=203)	46.8	35.0	35.5	25.1	17.7	20.7	3.0	

国の防災対策について 充分と思う理由

- 充分だと思える理由は、「なんとなくそう思う」（39.2%）が最も多い。
- 他、「災害多発国としての十分な経験がある」（23.5%）、「防災教育が充分だから」（22.9%）が上位にあがる。

■ 「国の防災対策は充分だと思える」回答者

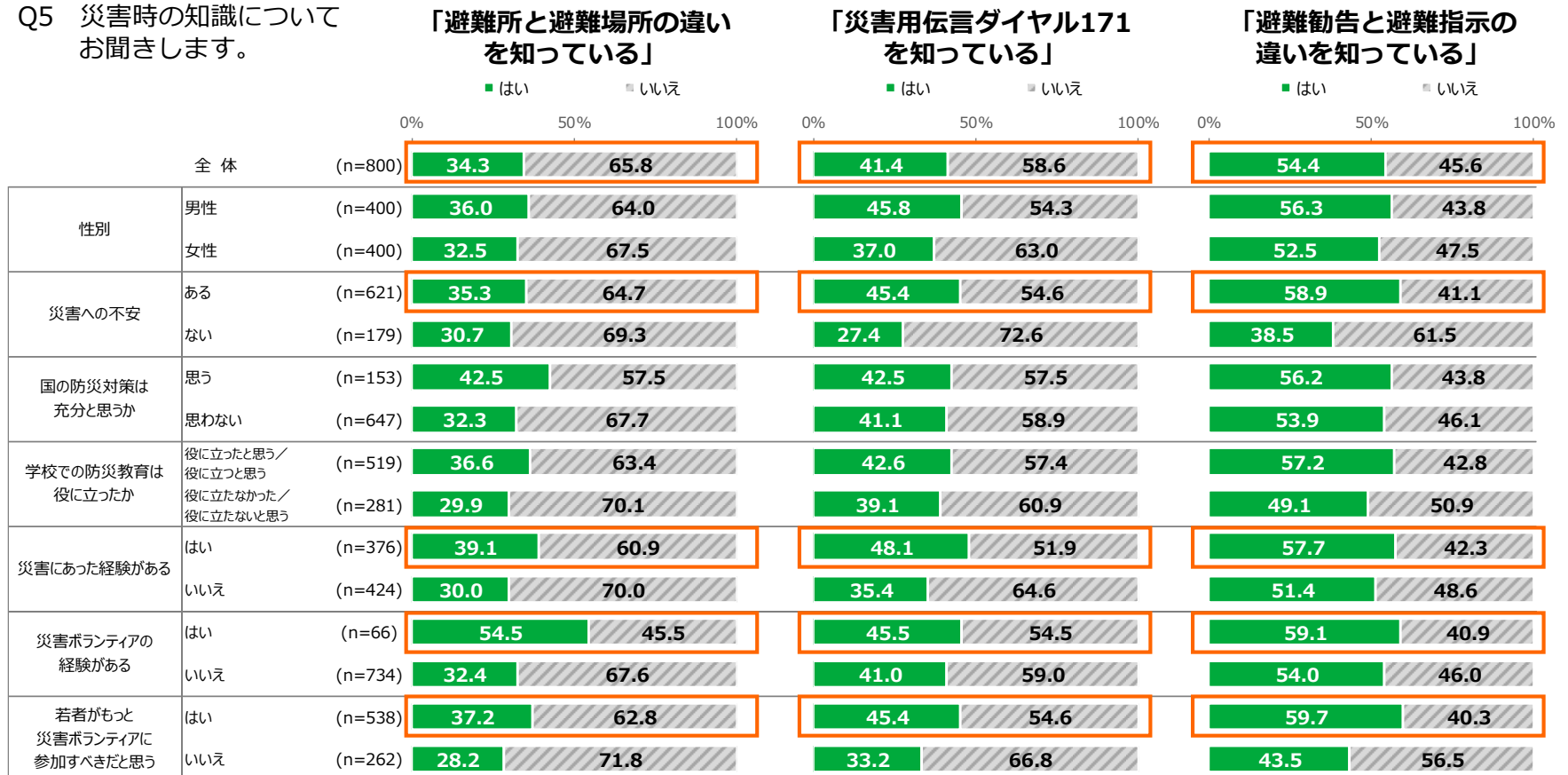
Q4 あなたは、前問で大規模災害に対する国の防災対策は充分だと「思う」とお答えになりましたが、その理由として当てはまるものを全て選択ください。（複数回答）



災害時の知識

- 「避難所と避難場所の違いを知っている」34.3%、「災害用伝言ダイヤル171を知っている」41.4%、「避難勧告と避難指示の違いを知っている」54.4%。
- 「災害への不安がある」、「災害にあった経験がある」、「災害ボランティアの経験がある」、「若者がもっと災害ボランティアに参加すべきだと思う」など、災害への意識が高い層は、そうでない層に比べて、これらの知識の認知率が高い傾向がみられる。

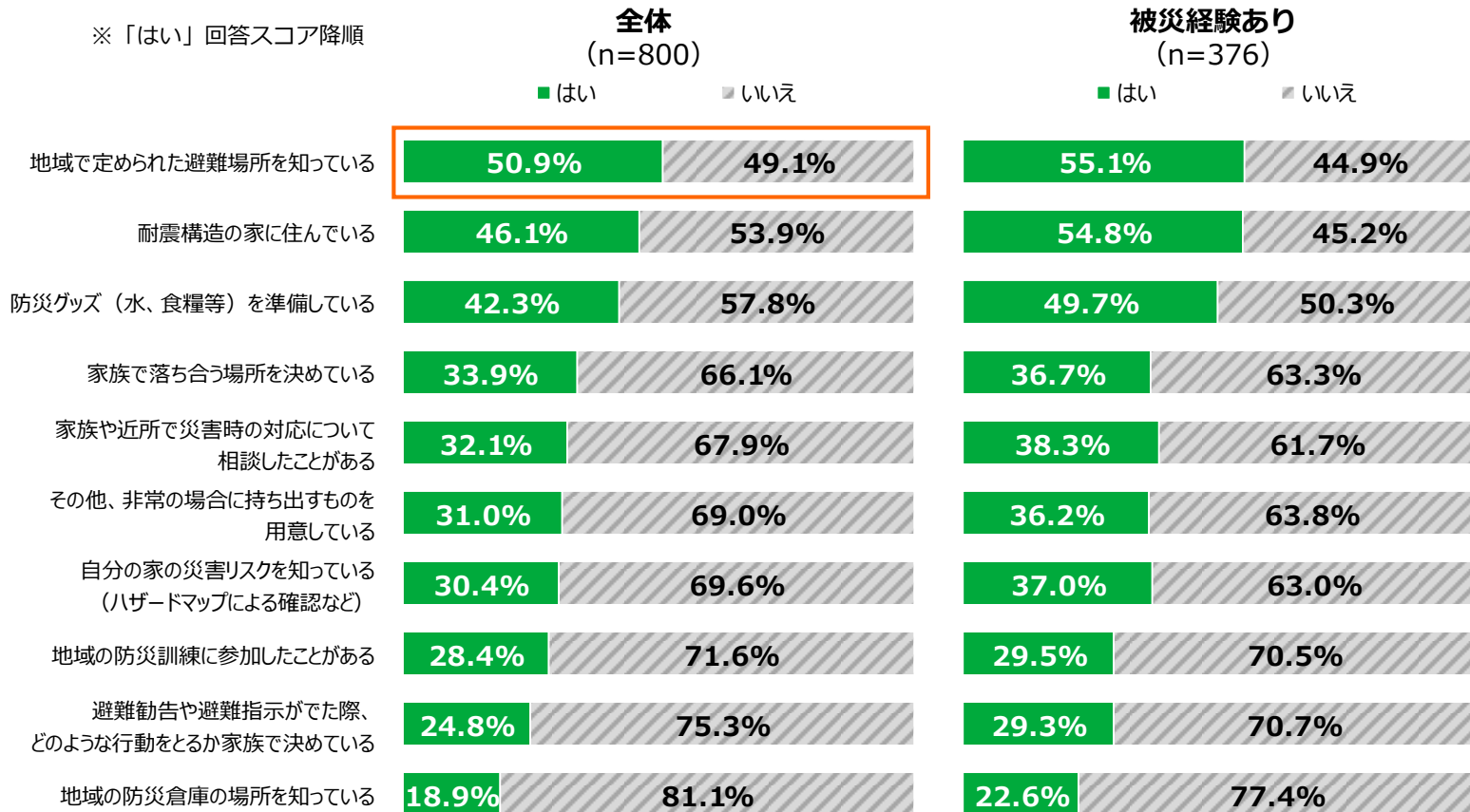
Q5 災害時の知識についてお聞きします。



自助

- 備えができていない割合は低く、一番高い「地域で定められた避難場所を知っている」でも50.9%にとどまる。
- 被災経験がある層はいずれの内容についても、全体に比べ備えができていない割合が多い。

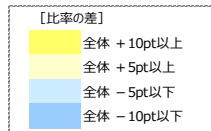
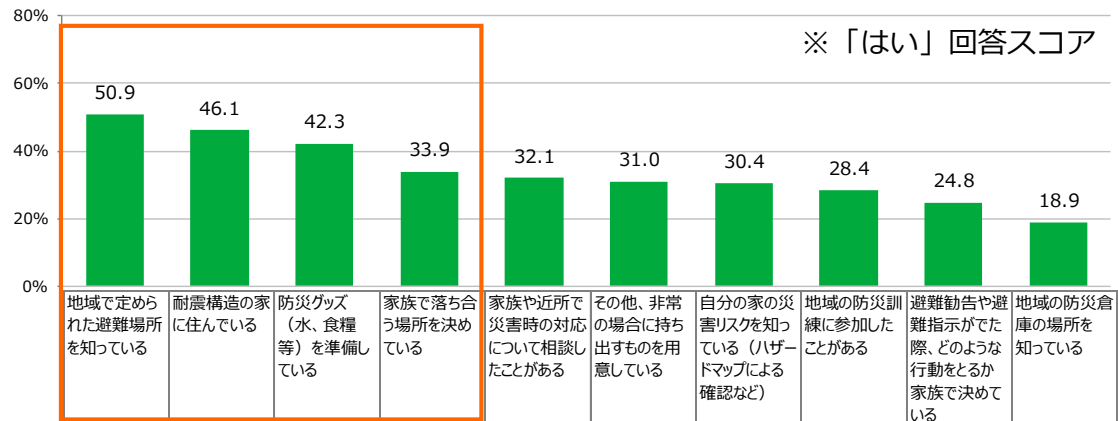
Q6 防災は自助が基本と言われていますが、災害時に備え準備をしていますか。



自助

- 備えができているものとしては、「地域で定められた避難場所を知っている」(50.9%)が最も多い。
- 次いで、「耐震構造の家に住んでいる」(46.1%)、「防災グッズ(水、食糧等)を準備している」(42.3%)、「家族で落ち合う場所を決めている」(33.9%)などが上位にあがる。
- 前ページで言及した「被災経験がある」層の他、「災害ボランティアの経験がある」「若者がもっと災害ボランティアに参加すべきだと思う」層は、備えができている割合が多い。

Q6 防災は自助が基本と言われていますが、災害時に備え準備をしていますか。(単一回答 選択肢: はい/いいえ)

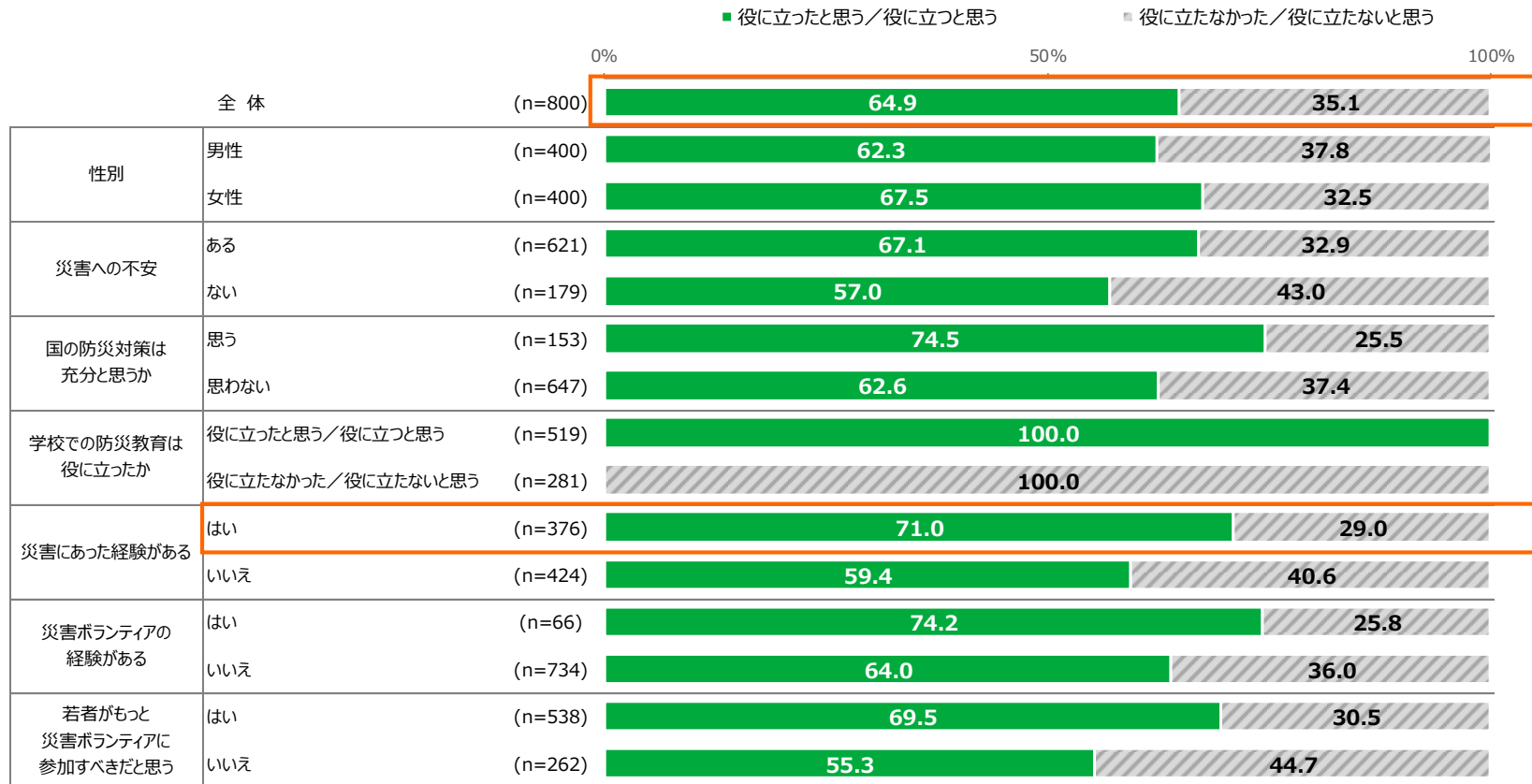


		全体 (n=800)	50.9	46.1	42.3	33.9	32.1	31.0	30.4	28.4	24.8	18.9
性別	男性 (n=400)	52.8	45.8	46.3	34.3	31.3	35.3	32.5	33.5	26.8	23.0	23.0
	女性 (n=400)	49.0	46.5	38.3	33.5	33.0	26.8	28.3	23.3	22.8	14.8	14.8
災害への不安	ある (n=621)	54.3	48.1	45.9	37.2	34.9	33.8	31.9	29.6	26.1	19.3	19.3
	ない (n=179)	39.1	39.1	29.6	22.3	22.3	21.2	25.1	24.0	20.1	17.3	17.3
国の防災対策は充分と思うか	思う (n=153)	58.2	55.6	51.6	34.6	35.3	43.8	39.9	34.6	34.0	31.4	31.4
	思わない (n=647)	49.1	43.9	40.0	33.7	31.4	28.0	28.1	26.9	22.6	15.9	15.9
学校での防災教育は役に立ったか	役に立ったと思う/役に立つと思う (n=519)	54.3	49.7	44.9	35.3	33.7	33.7	32.4	32.2	26.2	21.0	21.0
	役に立たなかった/役に立たないと思う (n=281)	44.5	39.5	37.4	31.3	29.2	26.0	26.7	21.4	22.1	14.9	14.9
災害にあった経験がある	はい (n=376)	55.1	54.8	49.7	36.7	38.3	36.2	37.0	29.5	29.3	22.6	22.6
	いいえ (n=424)	47.2	38.4	35.6	31.4	26.7	26.4	24.5	27.4	20.8	15.6	15.6
災害ボランティアの経験がある	はい (n=66)	62.1	53.0	53.0	40.9	59.1	48.5	56.1	54.5	45.5	40.9	40.9
	いいえ (n=734)	49.9	45.5	41.3	33.2	29.7	29.4	28.1	26.0	22.9	16.9	16.9
若者がもっと災害ボランティアに参加すべきだと思う	はい (n=538)	56.3	52.6	45.2	38.3	37.4	33.6	33.6	31.2	28.3	19.9	19.9
	いいえ (n=262)	39.7	32.8	36.3	24.8	21.4	25.6	23.7	22.5	17.6	16.8	16.8

学校の防災教育は役に立った・役に立つと思うか

- 「役に立ったと思う/役に立つと思う」は64.9%。
- 被災経験がある層は、被災経験がない層に比べて「役に立ったと思う/役に立つと思う」が多く、71.0%。

Q7 学校での防災教育は役に立ちましたか、あるいは役に立つと思いますか。以下の設問に当てはまる方を選択してください。



学校の防災教育は役に立つか 理由

- 防災教育は「役に立った・役に立つと思う」理由としては、被災経験がある人からは「実際に役に立った」「落ち着いて行動できた」「パニックにならなかった」など。被災経験がない人からは「やらないよりは良い」「何も学ばなかったら行動に移せない」「他では学べない」などの声が挙がっている。
- 「役に立たなかった・役に立たないと思う」理由では、被災経験がある人からは、「リアリティに欠ける」「想定外すぎて避難訓練のように冷静に動けない」「自宅でどのような行動をすればよいかわからない」という意見。被災経験がない人からは、「緊張感がなかった」「校内でしか役立たない」「本当に災害にあったときに同じ行動ができるとは限らない」などの意見が出ている。

Q8 前問でそのようにお答えになった理由や問題点をご記入ください。（自由回答抜粋）

被災経験 あり

- 東日本大震災のときに比較的落ち着いて行動できたから。（男性）
- 東日本大震災の際に避難訓練があったおかげでスムーズに対応できた。（女性）
- 実際に訓練してなかったら東日本大震災の時もとっさに行動できなかったと思うから（女性）
- 大阪北部地震の時に実際に役に立ったから（女性）
- パニックにならなかった（男性）
- 学校での教育がなかったら全く何をすべきか知らなかったから（男性）
- 基本的な知識を得ることができた（女性）
- 訓練において、実際にどこへ逃げればいいのかを知ることができた。特に、集団でいる時の訓練だったので、なかなか早く避難場所へ行けないことも痛感できたから。（男性）
- 焦らずに行動する大切さを知ったから（女性）
- 身の安全の確保の仕方を教わってきた。（男性）
- 普段自らやる機会がないため（男性）

役に立った・役に立つと思う

被災経験 なし

- やらないよりは良い。本当に災害が起こったとき、訓練を経験してなくて本当に変わる（男性）
- 何も学ばなかったらほんとに地震が来た時に行動に移せないと思うから（女性）
- 何を準備すればいいのかなど基本的なことが分かったから（男性）
- 他では学べないから。（女性）
- 学校でやらなければ防災に関心を持つことがなく、実際の災害が発生した際に知識を基にして行動できるようになるから（男性）
- 机の下に入るとか学校で習わなかったらこんな知らないと思う。（男性）
- 習わなければどう動けばいいかわからないと思うから（女性）
- 実際にあったときに練習通りに行えば自分の身は守れるから（男性）
- 実際に災害が起きて落ち着いて判断ができると思うから。（女性）
- 小さい頃から防災意識を身に付けることができるから。（女性）
- 避難場所などがわかったから（男性）

役に立たなかった・役に立たないと思う

- あくまで訓練であり、危機感を感じない。（男性）
- 学校での避難訓練は皆真剣にやっていないから。（女性）
- あまり印象に残っていないから。（女性）
- リアリティに欠けるから。（男性）
- 実際地震が起きた時は下校途中だったのでもっとさまざまな場面を想定して行っべきだと思います。（男性）
- 東日本大震災を経験し、全く想定外すぎて、避難訓練のように冷静になんて動けないから（女性）
- 避難訓練は日中に行われたが、熊本地震が発生したのは夜間だったため、自宅でどのような行動をすればよいかわからなかったから。（男性）
- 防災教育では想定外を考慮しないため役に立たないと思った。昨今起きている災害のほとんどは想定外と言われており、防災教育そのものが緊張感のないものだった。（男性）
- 本当に災害が来たときは訓練のように落ち着いていられないから（女性）

- あまり覚えてないから（男性）
- 緊張感がなかったから。避難訓練中喋っている友達もいた。（女性）
- 校内でしか役に立たない（男性）
- もう少し実践的な方が良かった（男性）
- 運動場まで移動するだけだから。（女性）
- 火災などでパニックになった人間が適切な行為を行えるとは思わない（男性）
- 学校の生徒は本当に災害が起きたことを考えて訓練などしていない（女性）
- 経路は分かるが、本当に災害があったときに同じ行動が出来るとは限らない（女性）
- 実際に起きてみるとわからないから（女性）
- 防災グッズのことや学校以外のときに地震が起こったときの行動などについては教えられてないから（女性）
- 本当に非常事態になったとき学校で習ったことを冷静になって思い出せるとは思わなかったから。（女性）

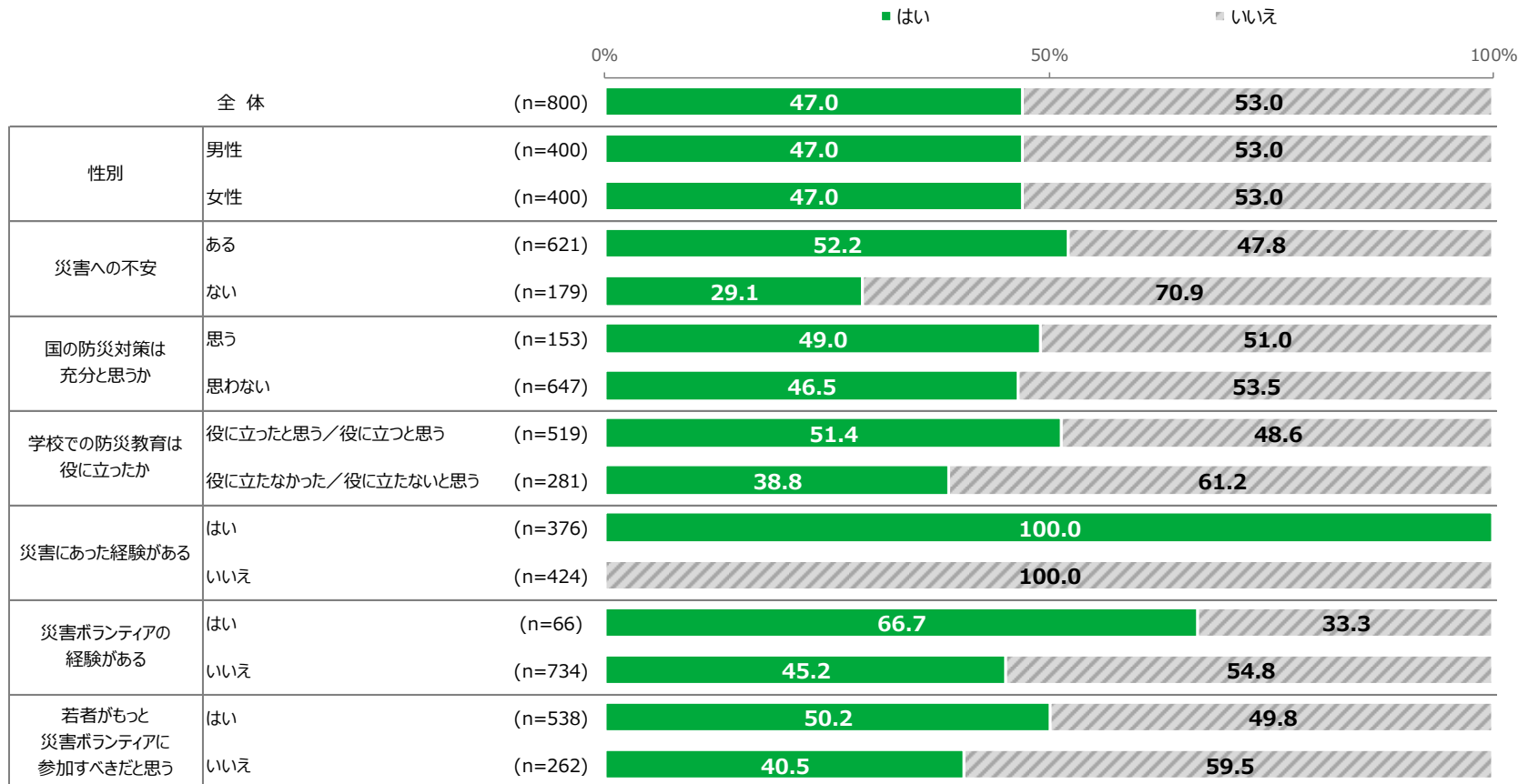
【学校の防災教育は役に立つか 理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

被災経験

- 災害にあった経験があるのは全体の47.0%。

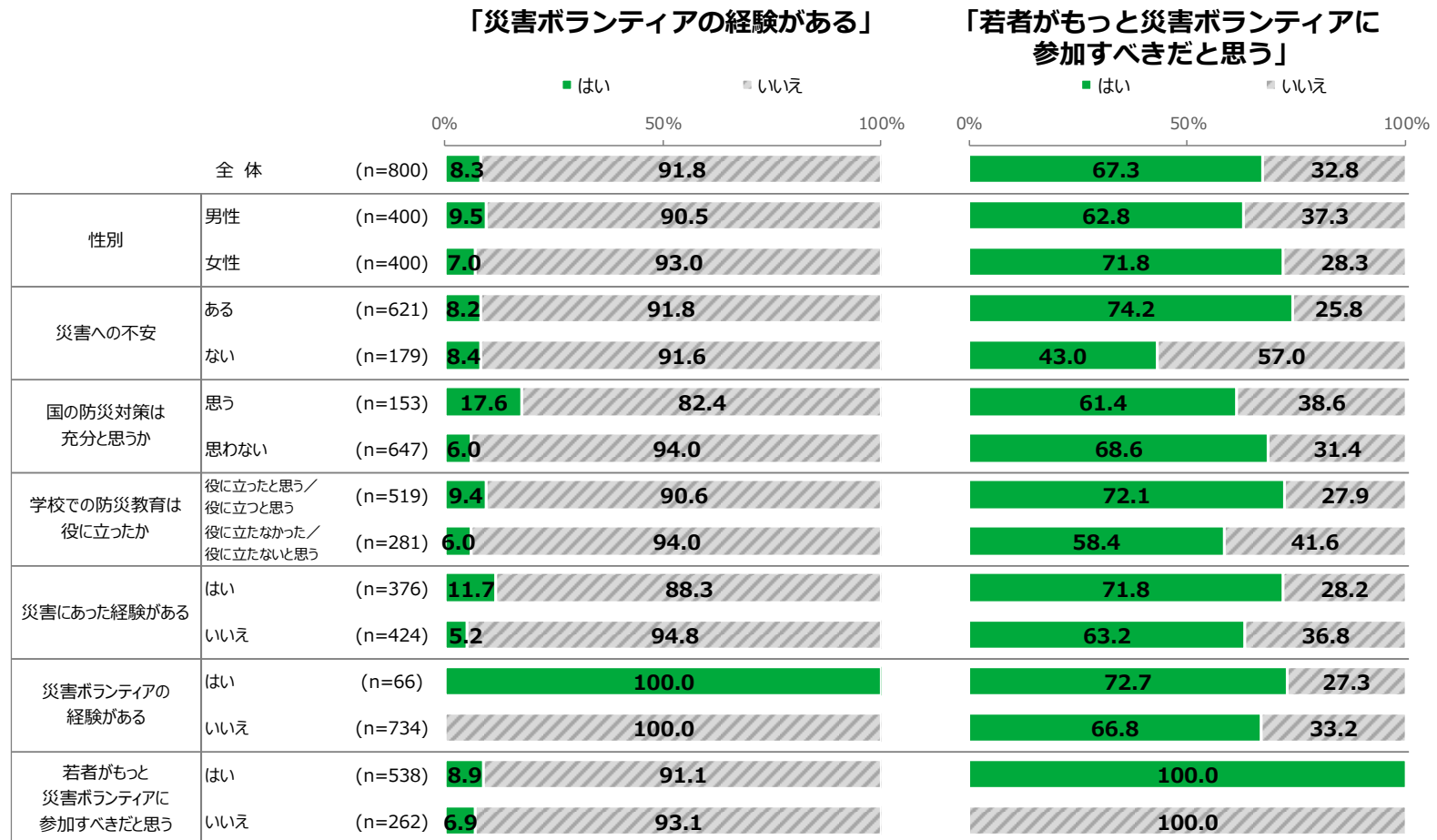
Q9 以下の設問について当てはまる方を選択してください。／災害にあった経験がある



災害ボランティアについて

- 「若者がもっと災害ボランティアに参加すべきだと思う」は67.3%であるのに対し、「災害ボランティアの経験がある」は全体の8.3%という結果であった。

Q9 以下の設問について当てはまる方を選択してください。



若者がもっと災害ボランティアに参加すべきか 理由

- 「若者がもっと災害ボランティアに参加すべき」と回答した理由は、「若い人の方が体力がある」「一番動けるのは若い世代」「即戦力を持つ若者は災害からの復興への手助けとなると思う」など、ボランティアには体力のある若者が向いているという意見や、「防災意識を高められる」「災害の実態を知ることができる」「自分たちが災害にあった時どう行動すればいいのか知識もつくと思う」という回答も目立った。
- 「いいえ」と回答した理由は、「参加したい人がすべき」「ボランティアは自由参加」「参加できる余裕がある人は若者に限らず参加すべき」「意欲がないものは邪魔」など。

Q10 「若者がもっと災害ボランティアに参加すべきだと思うか」という質問に対する回答の理由をご記述ください。（自由回答抜粋）

「はい」自由回答抜粋

- これからの日本を担っていく人たちなので。（女性）
- 自分たちがこれからの日本を支えていくから。（男性）
- 若い人の方が体力があるから。（女性）
- 少子高齢化が進んでいるので、今のうちに少しでも若い人たちが参加した方が後々防災に役立つと思うから。（女性）
- 高齢社会となった今、1番動ける若者を中心に活動するのが一番だと思うから。（女性）
- 知識や経験がなくても、力仕事や即戦力を持つ若者は災害からの復興への手助けとなると思うから。（男性）
- 一番動けるのは若い世代なのでボランティアに参加して1人でも多くの人を救うべきだと思います。（女性）
- やっぱり、高齢者の方だとできることも限られてくると思うので、若い人たちがボランティアに参加すべきだと思う。（男性）
- 実際に災害が起こった場所へ参加することによって将来災害が起こった時の対処や今の自分の現状を知ることが出来ると思うから。（女性）
- たくさんの方がボランティアに参加すれば、より早く復興できると思うし災害現場の現状を知ることができるから。（女性）
- ネットが普及されていく中で実際に目にするのが大事だと思うため。（男性）
- ボランティアに参加する事で災害の実態を知ることができ自身の防災意識を高めることにも繋がるから。（女性）
- 今から生きていく人生の中で必ず役に立つと思うから。（女性）
- 今の若い世代は災害に対する意識が低いから。（男性）
- 災害に対しての意識を高められるから。（女性）
- 災害の恐ろしさを軽く考えている人もいるから。（女性）
- 災害現場の人手不足が問題になっているから。（男性）
- 参加することで災害を肌で感じることで、防災の意識が少しは高まるのではと考えたから。（男性）
- 私も含めて若い人達が災害ボランティアに参加する事で、災害にあった地域の手助けにもなるし、自分たちが災害にあった時どう行動すればいいのか知識もつくと思うから。（女性）
- 若者の災害に対する意識は低いので、災害ボランティアを通じて災害の大変さやどうするべきかを考えさせてくれると思うから。（男性）
- わたしも参加したいと思ったから。（女性）

「いいえ」自由回答抜粋

- 若者だけでなく全員が参加すべきだと思うからです。（女性）
- 若者とか老人とか関係なく、参加したい人がすべき（男性）
- ボランティア参加は自由参加なのであって強制されるべきではないから（男性）
- ボランティアに行くのは、行きたいという意志があり被災地に迷惑をかける人が行けば良い（男性）
- やる気がなければやっても意味がない。ボランティアに参加する若者が増えれば良いとは思いますが、あくまで有志で参加するのが基本。（男性）
- 危険な場所も多いため、学生などは危ないから（女性）
- 災害ボランティアに参加できる余裕がある人は若者に限らず参加すべきだと思ったから。（男性）
- 若者が自分だから。支援物資くらいは手伝えるが、現地に行くのはめんどくさい。若者が～じゃなくて、やりたい人がやれと思う。何でも若者に頼ってほしくない。（女性）
- 若者のボランティアは意欲がない者は邪魔でしかないから（男性）
- 戦力にならないような若者が被災地に行ってもしょうがないから（男性）
- 体力があるならばやった方がいいと思うが成人した大人がやった方が物事がスムーズに進むと思うから（女性）
- 知識があればいいが、中途半端なままではかえって迷惑だと思うから。（女性）

【若者がもっと災害ボランティアに参加すべきか 理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/